改訂日 : 2026/01/19

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : 08874-K9025、K9026 クイックコンディショナー

製品名称 2 :08874-K9027 メンテナンスセット補充用セット
08874-K9032 スマートフィニッシュnanoオーナーズメンテナンスキット

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 自動車塗装保護用

使用上の制限 : 推奨用途以外に使用しないこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

販売元 : 株式会社バンザイ

住所 : 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

担当部署 : 営業企画開発部

電話番号 : 03-3769-6884

FAX : 03-3456-4691

緊急連絡先 : 03-3769-6884

製造元 : 株式会社BTO

住所 : 〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東5-2-19

担当部署 : 商品企画部

電話番号 : 06-6302-5711

FAX : 06-6302-5712

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

発がん性:区分 1A

生殖毒性:区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2(血液系、中枢神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2(肝臓、中枢神経系、呼吸器)

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語:危険

危険有害性情報

H350 発がんのおそれ

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H371 臓器の障害のおそれ(血液系、中枢神経系)

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓、中枢神経系、呼吸器)

注意書き

安全対策

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
保管
P405 施錠して保管すること。
廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
エタノール	64-17-5	5 - 10	2-202
プロピレングリコール	57-55-6	1 - 5	2-234

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。
危険有害成分
労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分
エタノール , プロピレングリコール
労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分
エタノール , プロピレングリコール

4. 応急措置

応急措置の記述
吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
コップ1-2杯の牛乳又は水を与えて胃内で薄める。吐き出させてはならない。
意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
応急措置をする者の保護
保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項
医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、泡、粉末、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。
蒸気を吸入しないために風上に移動する。
火災の現場から製品を退避させるか、蓄熱による容器内の圧力上昇を抑えるため容器を水の噴霧により冷却する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は空気呼吸器を含め防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合:吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
多量の場合:盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
床を漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10.安定性及び反応性」を参照

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗う。
休憩、終業時はうがいする。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

製品の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

設定されていない

ACGIH

(エタノール)

STEL: 1000ppm (上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質:不浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体
色 : 乳白色
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点 : なし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 6
動粘性率データなし
溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度 : 1
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
燃焼により、CO 等の有害ガスを発生する恐れがある。
避けるべき条件
直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
混触危険物質
酸化性物質
危険有害な分解生成物
燃焼により一酸化炭素等の有毒ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[製品]
利用可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
急性毒性(経皮)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
急性毒性(経皮) の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
急性毒性(吸入)
[製品]
利用可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
皮膚腐食性/刺激性
[成分情報を用い加成方式を適用した分類根拠]
皮膚区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[成分情報を用い加成方式を適用した分類根拠]
眼区分2B に分類される成分
エタノール
10 x (皮膚区分1+ 眼区分1) + 眼区分2 < 10% であるため、区分に該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
呼吸器感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
皮膚感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
皮膚感作性を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。
生殖細胞変異原性
[成分情報を用いた分類根拠]
生殖細胞変異原性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
発がん性
[製品]

区分 1A, 発がんのおそれ
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1A に分類される成分
エタノール
区分1A >= 0.1%であるため、区分1Aに分類した。
[成分データ]
[IARC]
(エタノール)
Group 1 : ヒトに対して発がん性がある
[ACGIH]
(エタノール)
A3: 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性
[製品]
区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
[生殖毒性:成分データを用いた分類根拠]
区分1A に分類される成分
エタノール
区分1A >= 0.3%であるため、区分1Aに分類した。
[授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分): 成分データを用いた分類根拠]
授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
プロピレングリコール
区分3 (気道刺激性) に分類される成分
エタノール
区分3 (麻酔作用) に分類される成分
エタノール; プロピレングリコール
10% > 区分1 >= 1%であるため、区分2に分類した。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
プロピレングリコール; エタノール
区分2 に分類される成分
エタノール; ジプロピレングリコール-n-ブチルエーテル
10% > 区分1 >= 1%であるため、区分2に分類した。

誤えん有害性
[成分情報を用いた分類根拠]
誤えん有害性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 短期(急性)]
(M X 100 x 区分1) + (10 x 区分2) + 区分3 < 25% であるため、区分に該当しない。
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 長期(慢性)]
区分1、区分2、区分3、または区分4のいずれにも分類されないため、区分に該当しない。

水溶解度
(エタノール)
混和する (出典: ICSC, 2018)
(プロピレングリコール)
混和する (出典: ICSC, 2014)
(ジプロピレングリコール-n-ブチルエーテル)
5 g/100 mL (20℃) (出典: ICSC, 2006)
残留性・分解性
[成分データ]
(エタノール)
急速分解性あり (分解度: 89% (by BOD)) (出典: NITE)
(プロピレングリコール)
急速分解性あり (分解度: 90% (by BOD)) (出典: NITE)
生体蓄積性
[成分データ]
(エタノール)
log Pow: -0.32 (出典: ICSC, 2018)
(プロピレングリコール)
log Pow: -0.92 (出典: ICSC, 2014)
(ジプロピレングリコール-n-ブチルエーテル)
log Pow: 1.5 (出典: ICSC, 2006)
土壌中の移動性
データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
指針番号: 171
IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）: 非該当
特別の安全対策
特別の安全対策データなし
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令
当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
エタノール(規則別表第2の205); プロピレングリコール(規則別表第2の1786)
名称通知危険/有害物
エタノール(規則別表第2の205); プロピレングリコール(規則別表第2の1786)
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
プロピレングリコール(通し番号106 人健康影響)

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和6年度 (2024年度) 公表分まで))です。